

第6回(平成20年度)「新機械振興賞」受賞者アンケート

1) 応募した動機は何ですか？

- ・ 自社技術のレベル確認と開発部門の活性化
- ・ 我々の開発した装置のポテンシャルを客観的に判断していただきたいと思いました。また、当然ですが、箔が付くことも期待しました。
- ・ 弊社にとっては数十年に一度の新しい技術の開発であり、その独自性を評価して頂くために、新機械振興賞に応募をさせて頂きました。
- ・ 機械分野で大変権威のある新機械振興賞を受賞することで、当社の技術力を広くPRするため。

2) 受賞したことによる期待あるいは効果

- ・ 自部門の存在価値を自社内でアピールすることが出来たこと、エンジニアの新たな目標設定のアイテムとなったことが良かった。
- ・ 仕事上でのつきあいではなかった知り合いから、受賞祝いの連絡をいただきました。一定の人たちがこの賞をチェックしていることを改めて認識しました。電子材料3月号に受賞製品に関連する投稿をしましたが、その際に、受賞の件も触れさせていただきました。依然として、「比較的新しい技術」という状況に本製品はありますが、このような受賞をしたことで、導入を迷っているような人にも、価値を認識していただけるのではないかと期待しています。
- ・ 本賞は機械技術開発による名誉ある賞であり、社内の各方面、取引先等からお言葉を頂きました。
- ・ 環境へも配慮した我が社の革新的技術開発力と開発への取組み・姿勢を客観的に評価いただくことを期待し、社外の権威ある賞への応募を継続的に進めている。今回の受賞はその意味で大変意義あるものである。反響として、業界紙以外の雑誌（環境ビジネスなど）や地元紙にも取り上げていただき、地元含めて広く我が社の先進技術及び企業姿勢をご理解いただく一助になったと確信している。